

## 第6回広域評価モニタリングWG 議事メモ

- A. 日 時 2012年2月8日 水曜日 15:00-17:00
- B. 場 所 鹿島建設 秋葉原オフィス（秋葉原ダイビル5階）
- C. 出席者 国松主査, 他7名
- D. 提出資料（提出委員名）
  - No.6-1 道路交通振動の広域評価手法について
  - No.6-2 ワイヤレス・センサネットワークを用いた環境振動広域モニタリング
  - No.6-2 道路交通振動予測システム（Super VIB(H)）

### E. 議事内容

1. 資料 No.6-1 の資料の説明後、議論を行った。
  - ・画面上に表示するデータについて、加速度記録、FFT 分析以外に 1/3 オクターブバンド分析結果も追加することが望ましいという意見があった。
  - ・振動の大きさを dB 値で表示し、レベル区分としての幅についても検討が必要との意見があった。
  - ・予測結果の表示で道路上の結果は表示しないようにした方がよいのではないかという意見があった。
2. 資料 No.6-2 の資料に基づき議論を行った。
  - ・センサーの性能（分解能、周波数帯域等）について議論があった。
  - ・新計測システムについて、データ欠損の改善/センサー精度向上の確認を行う。
    - 1)2/10 にシステム動作確認打合せ
    - 2)その後室内において AC 電源による動作確認試験を実施（5セット）
    - 3)屋外測定を現システムと並置（センサー精度向上の確認のため）して実施（2セット）
  - ・今後の課題、次年度の課題について意見交換を行った。
    - 計測システムの課題としては、電源の問題が大きいという意見があった。
    - 計測システムの信頼性向上/精度向上より、予測評価手法の向上を主に検討する。
    - そのために、実測結果と予測結果を比較できるデータ取得を行う。
  - ・環境アセスでの使用を目的とした市販予測プログラム、資料 6-3 について紹介があった。
3. 次回開催予定  
次回 WG は、2012年3月中旬～下旬に開催予定